

洋上WG合同会議第32回 ヒアリング資料

公募占用指針改定案について

株式会社グリーンパワーインベストメント

2025年6月3日



※ 本資料の無断転載・複製はお控えください。

Green Power Investment Corporation 2024 © All Rights Reserved.

1.会社紹介

2.公募占用指針改訂案についての意見

3.導入拡大に向けた提言

1. 会社紹介



会社名	株式会社グリーンパワーインベストメント
本社所在地	東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ9階
設立日	2004年9月
事業内容	再生可能エネルギー事業の事業開発、発電所運営、資金調達、資産運用・管理
株主	NTTアノードエナジー、JERA、堀 俊夫、幸村 展人

日本各地に事業所を置き、積極的に再生可能エネルギー事業を展開

【洋上風力で日本最大】
石狩湾洋上風力発電所(112MW)
※2024年1月運転開始

【陸上風力で日本最大】
ウィンドファームつがる(121MW)
※2020年4月運転開始

その他にも、全国で再生可能エネルギーの事業開発に取り組んでおります



当社はJERA・東北電力と共に構成される企業体として再エネ海域利用法に基づく「青森県沖日本海(南側)における洋上風力発電事業」の公募に応募し、2024年12月に事業者として選定されました

2. 公募占用指針改訂案についての意見

その一： 事後的なFIP転換

- 1stラウンドでは将来的なFIP制度への移行は想定されておらず、FIT制度を前提に公募が実施された
- FIPへの転換可能性が明示された再エネ特措法施行規則の改正は2022年4月。1stラウンド入札後であり、1stラウンド事業のFIP転換を予見できるものではなかった
- FITとFIPでは収支計画の考え方が全く異なり、別公募と考えるべきであり、1stラウンド事業にFIP制度を適用するのであれば、再公募の実施が適切
- 再公募の以前に、1stラウンド落札者が遂行困難ならば、次点以下の応募者に遂行可否を問うのが先ではないか

2. 公募占用指針改訂案についての意見

その二： 事業者選定後の公募ルール変更がもたらす課題

- 事業者選定後に公募ルールを変更することは、国内外事業者から忌避されることであり、甚大なカントリーリスクと見做される
- 1stラウンドがFIP転換可能とするなら、1stラウンド落札者もZPLとする、もしくは、2nd・3rdの選定事業者にも同等の支援策がなされなければ不公平
- 過去ラウンドへの価格調整スキームの遡及的適用は、ZPL導入前の1stラウンド案件に偏った救済策になってしまっている
- 基地港利用・SEP船やコントラクター確保等、先行案件の遅延が後続案件の進捗に影響し、早期導入拡大・エネ基実現に支障を及ぼす

3. 導入拡大に向けた提言

- ✓ 過去ラウンドの選定事業の多くが、物価上昇やPPA締結先確保に苦勞している状況。大きな要因は落札するための必須条件がZPL入札であったことから、今後の入札では遅延・断念の原因になり兼ねないZPLを最高点とする価格評価方法を見直してはどうか
- ✓ 公共事業の入札のように、公募開始前に『予定価格』と『最低制限価格』を算定すべき。五島市沖から始まる過去ラウンド(10海域)についての分析を含め、有識者、産業界等からの的確なアドバイスを以って算定された『予定価格』を上限価格とし、また合理的に投資コストが回収出来得る供給価格を『最低制限価格』として、これらの間のみを有効とする
- ✓ 地域との協調性の具備を優先した事業者の遂行能力の評価基準・手法の改善。PQの採用
- ✓ 第7次エネ基、GX2040ビジョンの推進と達成のためには、洋上風力が着実に実現できる枠組みを見直し市場環境整備が急務

弊社意見の要旨

- ✓ 1stラウンドはFIT前提で実施され、FIP転換は想定外であった。1stラウンド案件の落札者がFIT前提では遂行困難なのであれば、次点以下の事業者の遂行可能性を探り、不調であればFIP前提で再公募をするのが適切である。
- ✓ 公募後のルール変更は信頼を損ね、カントリーリスクと見做される。1stラウンドのFIP転換は他ラウンドとの公平性を欠き、1stラウンドのみの救済は不適切である。先行案件の遅延は後続にも影響し、国内洋上風力導入拡大の妨げとなり得ることが危惧される。
- ✓ ZPLで入札せざるを得ない価格要素の評価方法が事業の遅延や断念を招くことが懸念されるため、見直しが必要である。過去ラウンドの応札図書から価格分析をし、今後の公募においては予定価格と最低制限価格が設定された合理的な価格帯での入札を促すべき。
- ✓ 地域との協調性を具備した事業遂行能力をより重視する制度改善が必要。
- ✓ 国が掲げる目標を達成するには、洋上風力に係る市場環境整備が急務。

ご清聴ありがとうございました